



平成29年4月6日

各 位

会社名 株式会社ゼットン
代表者の役職名 代表取締役社長 鈴木 伸典
(コード番号：3057 名証セントレックス)
問い合わせ先 財務経理部長 森 充
電話番号 03-5773-4317 (代表)

特別損失の発生及び業績予想の修正、
並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、平成29年4月6日開催の取締役会において、下記の通り特別損失を計上すること及び平成28年4月14日に公表いたしました平成29年2月期の連結業績予想及び配当予想について、下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上及び内容

当第4四半期において、将来キャッシュ・フローの見積りを厳格に見直した結果、一部の店舗（24店舗）において営業活動による損益がマイナスとなる見込みとなりましたので、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額（604百万円）を「減損損失」として、また、新たに閉鎖が確定した店舗（3店舗）について帳簿価額の全額（41百万円）を「固定資産除却損」として特別損失に計上いたします。

2. 平成29年2月期通期業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,200	百万円 230	百万円 300	百万円 40	円 銭 9.29
今回修正予想 (B)	9,900	215	330	△450	△104.46
増減額 (B-A)	△300	△15	30	△490	
増減率 (%)	△2.9	△6.5	10.0	—	
(参考) 前期連結実績 (平成28年2月期)	10,141	△93	24	△233	△54.23

(修正の理由)

売上高及び営業利益につきましては、既存店舗及び新規店舗の売上高が当初想定に及ばず前回予想数値を若干下回る見通しとなりました。

一方で親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、既存店舗を中心に収益性の低下が見られた 24 店舗に対して、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額する減損損失を多額に計上したこと等により、前回予想数値に対して大幅に悪化する見通しとなりました。

こうした状況を踏まえ、平成 28 年 4 月 14 日に公表いたしました、平成 29 年 2 月期の連結業績予想のうち親会社株主に帰属する当期純利益を中心に下方修正いたします。

3. 配当予想の修正（無配）について

	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成 28 年 4 月 14 日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
(参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	—	0.00	—	5.00	5.00

当社は、永続的な利益成長を図りつつ、成長に応じた株主の皆様への利益還元を行うことを重要な経営課題として認識し、事業拡大の為の内部留保の充実等、当社の経営成績及び財政状態を勘案し、利益配分を行っていくことを基本方針としております。しかしながら、先に述べた当期の業績予想の通り、平成 29 年 2 月期につきましては、大きな赤字決算が見込まれる為、誠に遺憾ではございますが、期末配当の実施を見送らせていただくことになりました。なお、現在、不採算店舗の撤退並びに既存店舗の収益改善に努めており、早期の復配を目指してまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以上